

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	13-314	慶應義塾大学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Chronic care management for dependence on alcohol and other drugs: the AHEAD randomized trial. アルコールと他の薬物に対する依存のための慢性ケアマネジメント：ランダム化試験 AHEAD。		
<b>執筆者</b>		
Saitz R <sup>1</sup> , Cheng DM, Winter M, Kim TW, Meli SM, Allensworth-Davies D, Lloyd-Travaglini CA, Samet JH.		
<b>掲載誌</b>		
JAMA. 2013 Sep 18;310(11):1156-67.		
<b>キーワード</b>		
慢性ケアマネジメント、アルコール依存症、薬物依存症		
<b>要 旨</b>		
<p><b>重要性：</b> 薬物依存をもつ人々は、健康状態への悪い結末、健康ケアの高い利用と頻繁な共存症を呈するが、しばしば低い品質のケアを受けている。慢性ケアマネジメント (CCM) は、ケアと結果を改善するアプローチとして提案された。</p> <p><b>目的</b> アルコールと他の薬物依存のための CCM が、通常のプライマリケアに比較して薬物使用結果を改善するかどうかを調査する。</p> <p><b>設計、設定と参加者：</b> AHEAD 研究では、アルコールと他の薬物依存のある 563 人を対象に無作為試験が Boston, Massachusetts の病院ベースのプライマリケア臨床実地で行われた。参加者は、2006 年 9 月から 2008 年 9 月まで、独立した居住区の解毒ユニットからの紹介、および都市部の教育研修病院や広告の照会から補充された人を含む； 95%が 12 カ月の追跡調査を遂行した。</p> <p><b>介入治療</b> 参加者は、CCM (n=282) または非 CCM (n=281) を受けるためにランダム化された。慢性ケアマネジメントは、プライマリケア医と調整され縦の治療を含んだ。動機の強化治療； 再発予防カウンセリング； そして、現場での医療、中毒、精神科医治療と社会福祉援助と照会 (互助を含む)。コントロール群の非 CCM グループは、プライマリケアの指定をうけ、カウンセリングを手配するための電話番号を含んだ治療資源のリストを受けた。</p> <p><b>主要なアウトカムと測定項目：</b> 主要アウトカムは、オピオイド、覚醒薬または大量飲酒の自己申告による中止であった。バイオマーカーは第 2 のアウトカムとした。</p> <p><b>結果</b> オピオイド、覚醒剤または大量飲酒の中止に関して CCM (44%) とコントロール (42%) グループの間にする有意差はなかった (補正オッズ比、0.84;95%CI,0.65-1.10; P=.21)。第 2 のアウトカムである中毒重症度、健康関連の生活の質 (QOL)、または薬物関連問題で有意差はみられなかった。アルコール依存症を持つ人以外では、サブグループ効果は見つからなかった。そして、アルコール依存の人においては、CCM はよりアルコール問題の減少と関係していた (平均スコア、10 対 13; 発生率比率、0.85;95%CI、0.72-1.00;P=.048)。</p> <p><b>結論と関連：</b> アルコールと他の薬物依存の人の間では、CCM は CCM のないプライマリケア指定に匹敵して、12 カ月間の自己申告の節制を増加させなかった。より強力な、あるいはより長期間の CCM が効果的か否かは、更なる調査を必要とする。</p>		